

カナダ金融政策（2022年7月）

市場予想を上回る1%ポイントの大幅利上げ

2022年7月14日

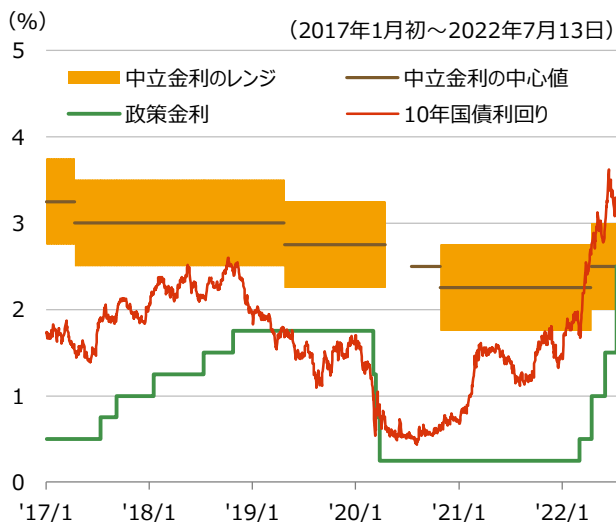
高インフレの定着を防ぐために、前倒しの利上げが必要との判断

カナダ銀行は7月13日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を1.5%から2.5%に引き上げることを決定しました。利上げ幅は市場予想の0.75%ポイントを上回る1%ポイントです。これにより、政策金利はカナダ銀行が推計する中立金利の中心値（2.5%）に到達したことになります。

声明文や記者会見では、高インフレが定着することの危険性と、それを防ぐために前倒しで利上げを進めることの必要性が強調されました。例えばマクレム総裁は記者会見において、①「インフレ率が極めて高く、また高インフレが定着するとの懸念が広がっている。我々はこれを容認することはできない」、②「カナダ経済は過熱しており、需要に対して労働者や商品・サービスが不足している。インフレ圧力を緩和させるためには、（利上げによって）需要を減速させる必要がある」、③「我々の目標は、経済のソフトランディング（軟着陸）とともにインフレ率を目標の2%に戻すことである。そのために、早急に利上げすることで、高インフレの定着を防いでいる。もし高インフレが定着してしまえば、インフレ率を目標に戻すことは経済および国民にとってより痛みを伴うことになる」などと説明しています。

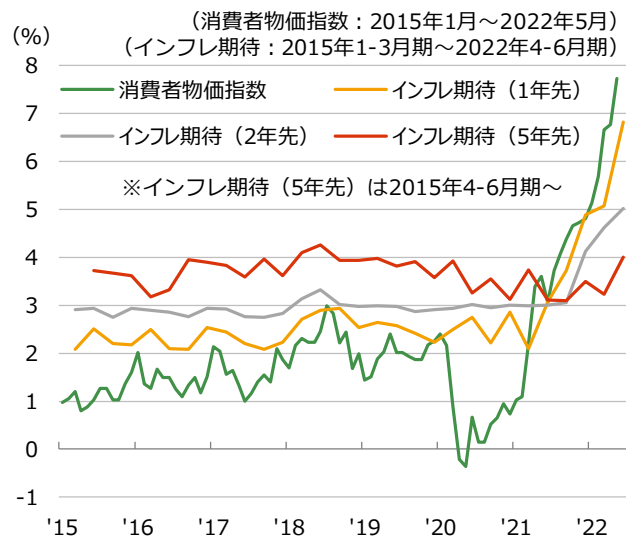
今後についてマクレム総裁は、「政策金利を中立金利のレンジ上限（3%）かそれをわずかに上回る水準まで速やかに引き上げる」との方針を示しています。そのため、次回9月7日の会合では最低でも0.5%ポイントの利上げ、場合によっては今回と同じ1%ポイントの利上げもあり得そうです。

カナダの各金利



※中立金利はカナダ銀行の推計値（新型コロナウイルス発生直後は一時的に公表が停止されていた）（出所）カナダ銀行、ブルームバーグ

カナダの消費者物価指数とインフレ期待



※消費者物価指数は前年同月比

（出所）カナダ統計局、カナダ銀行

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。